

## 会議録

- 1 附属機関の名称  
犬山市文化財保護審議会
- 2 開催日時  
令和4年3月22日（火）
- 3 開催場所  
書面による会議開催
- 4 出席した者の氏名
  - (1) 委員  
長谷川良夫、赤塚次郎、小嶋毅、林進
  - (2) 執行機関  
滝教育長、中村教育部長、（以下歴史まちづくり課）中村課長、加藤課長補佐、市野統括主査、渡邊統括主査、中村主査補、森主査補、中野主事補
- 5 議題（報告事項）
  - (1)文化財保存活用地域計画の策定について
  - (2)歴史まちづくり事業について
  - (3)犬山祭の保存修理等及び地域の伝統行事等伝承事業について
  - (4)文化財建造物の保存修理について
  - (5)犬山城関連主要事業について
  - (6)史跡東之宮古墳整備事業について
  - (7)天然記念物ヒトツバタゴ自生地について
  - (8)市史編さんについて
  - (9)史跡名勝天然記念物の現状変更について
  - (10)寄贈資料・寄託資料について
  - (11)その他
- 6 傍聴人の数  
0 人

## 7 内容

### 1 報告事項

#### (1) 文化財保存活用地域計画の策定について

委員：事業の進捗については、新型コロナ禍のため、思うように進まないのは残念ですが、長いスパンで進めたいものと思います。

委員：具体案が出てからが重要かと思います。

#### (2) 歴史まちづくり事業について

委員：表彰を受けた建造物の現状変更については、制限するとよいと思う。

委員：コロナのため残念に思いますが、気長にとりくみたいものです。

#### (3) 犬山祭の保存修理等及び地域の伝統行事等伝承事業について

委員：犬山祭以外の市内の伝統行事、継続して調査をお願いしたい。

委員：祭礼は継続して実施した方がよい

委員：継続して保存修理にあたってほしいと思います。

#### (4) 文化財建造物の保存修理について

委員：城下町の地域全体の景観がくずれかけているように見える。景観条例はお願い条例であり、強制力がない。現状では、駐車場の町並みになりかけている。重要伝統的建造物群保存地区への選定が急がれる。

委員：残された文化財をこれ以上消失しないためにも、古民家の修理の助成を実施し、城下町の景観を計画的に整えていく必要がある。

事務局：今後も継続して、歴史的建造物の修理に対し助成を行っていく。

委員：修理事業費の予算が少なすぎる。

委員：保存修理を終わった建造物については、できるだけ公開してほしいと思います。申し込めば見学できるようにしてほしい。

事務局：現状としては、愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会の特別公開等で所有者の方が公開している。今後は公開できる物件を増やせるよう所有者と協議を進めていきたい。

#### (5) 犬山城関連主要事業について

委員：犬山城と木ノ下城を一体として、城下町エリアを拡大し、記録、文化財調査（考古学的）を優先すべきである。

委員：調査結果を展示、あるいは再建のサンプルがあるとよいと思います。予算があるので無理かも。

委員：記録集を電子書籍化して市民に普及を図ったり、学校教材として活用

することを考えたかどうか。調査経過や対策も貴重な文化財集であると  
考えます。

(6) 史跡東之宮古墳整備事業について

委員：市民参加の修復イベント（土あげ祭）を基軸に東之宮古墳への市民意識を  
定着させ、保存活用・維持管理等を模索する。

委員：土あげ祭プロジェクトや「太陽と月」の記念シンポジウムなどのイベント  
は大変興味深いもので、参加していないので残念ですが、いいことと思いま  
す。

委員：市民講座で赤塚先生の講話を聴いた。参加者の関心も深く、もっと時間が  
欲しいとの感想が寄せられていたので、土あげ祭の様々なイベントは大切  
だと思います。「初めて来た」という市民も多いので、もっと存在意識を  
広める努力を審議会としてもやりたいですね。

委員：剥離チャートをチェックして標本価値のある物もあるので学校教材に活  
用してはどうか。石器にも使用された石材なので、体験講座にも活用でき  
る。

(7) 天然記念物ヒトツバタゴ自生地について

委員：具体的な活用計画作成してほしい。

委員：かねてから提案しているように駐車場の設置をお願いします。

事務局：ヒトツバタゴ自生地周辺には見学者の駐車場はありませんが、ゴールデン  
ウィーク前後には、自生地から徒歩 10 分程度の位置に臨時駐車場を開設  
しています。ヒトツバタゴ自生地周辺の駐車場の整備計画は、周辺環境へ  
の影響を考慮し、現状では計画しておりません。

委員：今後の展開に期待しています。ヒトツバタゴ自生地の奥側が整理できれば、  
稚樹の更新機会も増えると思います。一帯には貴重植物種もあり、それと  
の関連性の中で自生地を位置付ける計画をたてて欲しい。

事務局：令和 4 年度からヒトツバタゴ自生地の保存活用計画策定に着手します。こ  
の計画策定の中で、今後の保存・管理方針や活用施策について検討を進め  
ます。

(8) 市史編さんについて

委員：集積された資料はどのように保存されますか。また、過去に集積されてい  
る犬山市史の資料はどのように保存されているのか。やはり保存の場所の  
確保と公開を希望します。

事務局：収集した資料はリスト化し、市史編さん作業スペースとして使用する文化史料館本館 2 階の研修室で保管します。既刊の犬山市史で集積した資料は文化史料館で保管しています。新たに刊行する市史の資料の保管及び公開・活用については、今後犬山市史編さん委員会及び専門部会で検討します。

委員：豊田市史とまではいかないでしょうが、自然を切り離して考えずに、犬山の歴史と文化との関連性の中に自然を埋め込む手段をとれば「犬山ならではの」の特色のある「自然誌」を描けるのではないかと思います。生物目録でない自然編を組み立ててください。

事務局：今後、専門部会で構成の詳細を検討していきます。

#### (9) 史跡名勝天然記念物の現状変更について

委員：特になし

#### (10) 寄贈資料・寄託資料について

委員：文化史料館だけでは資料管理、活用に限界があり、やはり市立博物館が必要ではないか。

委員：寄贈資料、寄託資料についても保存と展示が必要と考えます。そのような場所の設定を考えてほしい。

委員：受け入れ基準はどうなっているか示してほしい。

事務局：文化史料館では、犬山にゆかりのある資料、歴史的・学術的価値のある資料、系統的に収集することが必要な資料、文化史料館で保管が可能な資料、その他犬山の歴史文化を把握する上で必要な資料かどうかを確認して資料を受け入れています。

中本町まちづくり拠点施設では、犬山祭に関する資料や犬山に伝わる資料を受け入れています。

青塚古墳史跡公園ガイダンス施設では出土場所や時代等を確認の上、犬山の考古に関する資料を受け入れています。

上記の各施設の収集方針に基づき、専門家や関係団体の有識者等から所見を得たうえで寄贈・寄託の手続きを行っています。

#### (11) その他

委員：「犬山ってどんな町」「犬山を多面的に知りたい」このように訴える人が多いので、例えばニワ里ねっと、犬山里山学研究所、犬山里山学センターでの講座の中に、統一テーマとして設置し、共同で何か「学びの場」をつくるのもいいかと思います。データ配信のリモート講座も併用した、ハイブリッド型もいいかなと思います。文化財行政の多様化にもつなげていけば OK。

(署名)

---